

大学コンソーシアムとちぎ・カーボンニュートラル宣言

地球温暖化の影響をできるだけ小さく抑えること。そのために私たちは今、行動を起こす必要に迫られています。

日本政府は 2020 年 10 月、地球温暖化の原因とされる温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル」宣言を行いました。その上で、地球温暖化対策推進法を改正し、2050 年までに脱炭素社会を実現すること、そのために環境・経済・社会のすべてが向上していくこと、あらゆる主体が密接に連携していくこと、といった基本理念を定めました。

栃木県もまた、2023 年 4 月、栃木県カーボンニュートラル実現条例を施行し、地球温暖化を防止し、持続可能な社会を構築することで、現在・将来の県民の生活を守っていく姿勢を明確にしました。この条例には、再生可能エネルギー利用の促進、脱炭素産業の創出・育成、森林吸収量増加のための施策の実施、環境教育・学習の推進などが記されています。

さて、「大学コンソーシアムとちぎ」は、県内に立地する 19 の大学等の高等教育機関が、相互の連携・交流を強化し、教育・研究を充実・発展させると共に、広く地域社会や産業界に貢献し、魅力ある栃木県づくりを目指すことを目的に 2005 年に設立され、以来、活発に活動してまいりました。加えて、学生活動を含む地域住民の方々との協働も積極的に進めてまいりました。これらの高等教育機関は、人文科学系・社会科学系・自然科学系・教育系・芸術系とさまざまな学部を有しており、それぞれ独自の強みを有しています。元来、高等教育機関には、自らが有する、政策や新技術の基盤となる専門的知を、社会に対し発信し、普及し、啓発を図っていくという大きな使命が課されています。こうしたことから、脱炭素社会の実現にあたって、高等教育機関、そして「大学コンソーシアムとちぎ」の果たす役割は極めて大きいと考えます。

「大学コンソーシアムとちぎ」では、このような観点から、以下の通りメッセージを発信します。

宣 言

「大学コンソーシアムとちぎ」は、

1. カーボンニュートラル実現のために、地域の産業・団体や栃木県・各市町と連携します。
2. カーボンニュートラルに関する先進的な知見を集約・共有します。
3. カリキュラムや教材等の作成、共同・交換授業等の実施を通じ、カーボンニュートラル実現に資する高度な人材育成を図ります。